



第73期 報告書

2019.3.1 ▶ 2020.2.29

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード 8016



代表取締役社長 保元 道宣

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2020年2月29日をもちまして、第73期の事業年度を終了いたしました。ここに第73期報告書をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、「人々の生活に潤いと彩りを提供するおしゃれの世界」を事業領域に定め、「ファッション」を生活文化として提案することによって新しい価値やライフスタイルを創造し、人々の豊かな生活づくりへ貢献することを経営理念としております。

第73期におきましては、グローバル事業構造改革として、欧米、アジア、国内の各マーケットで、不採算事業からの撤退や事業規模の縮小、不採算店舗の廃止を実施してまいりました。また、成長戦略としては、デジタル、カスタマイズ、ライフスタイルの3つの分野を柱とした取り組みを推進してまいりました。

次期事業年度につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、事業環境は大変厳しい状況が見込まれますが、安定した財務基盤を維持したうえで、引き続き事業構造改革を実施するとともに、成長戦略を着実に推進してまいります。

今後も株主の皆様をはじめ、全てのステークホルダーにご満足いただける質の高い商品、サービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

(百万円)

	2017.2	2018.2	2019.2	2020.2
連結売上高	244,900	243,075	240,652	248,233
連結営業利益(△損失)	4,203	5,167	4,461	△3,061
連結経常利益(△損失)	5,577	5,928	5,161	△3,835
親会社株主に帰属する当期純利益 (△純損失)	4,744	5,366	4,948	△52,135
連結総資産	273,226	278,133	287,554	234,316
連結1株当たり当期純利益 (△純損失) (円)	31.47	36.97	35.24	△383.97
EBITDA (営業利益+減価償却費および のれん償却費)	12,998	14,065	13,274	5,079

事業環境と業績全般について



「23区」

当社を取り巻くグローバルな経営環境は、国家間の経済摩擦の激化や英国のEU離脱問題の迷走、中東情勢の緊迫に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、先行きの不透明感が急速に広がっております。

このような経営環境の変化に対応すべく、当社はグローバル事業構造改革として、欧米、アジア、国内の各マーケットで、不採算事業からの撤退や事業規模の縮小、

不採算店舗の廃止を実施してまいりました。また、グローバル事業構造改革と並行して、デジタル、カスタマイズ、ライフスタイルの3つの分野を成長の柱とした成長戦略に取り組んでまいりました。

第73期(2020年2月期)連結業績実績

売上高	2,482億 33百万円	(前期比 3.2%増)
営業損失	30億 61百万円	(前期は44億61百万円の営業利益)
経常損失	38億 35百万円	(前期は51億61百万円の経常利益)
親会社株主に 帰属する 当期純損失	521億 35百万円	(前期は49億48百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)

当社グループでは、新規事業の創出やM&A等を活用した事業基盤の強化・拡大による成長を加速していく中で、会計基準の差異にとらわれることなく企業比較を容易にすることを目的とし、EBITDA（営業利益+減価償却費およびのれん償却費）を経営指標としています。なお、当連結会計年度のEBITDAは50億79百万円（前年同期比61.7%減）となりました。

事業セグメント別の概況

■アパレル関連事業

国内事業は、中核事業会社の株式会社オンワード樫山を中心にEコマースの販売が堅調に推移し、また、法人向けユニフォーム、セールスプロモーショングッズ等の企画販売を行うオンワード商事株式会社が増収増益となりました。一方で、消費税増税や豪雨・台風等の自然災害・暖冬等の天候不順の影響もあり、実店舗での販売が大きく



「自由区」



「組曲」

苦戦し、国内事業全体では減収減益となりました。

海外事業は、アジア事業においてグローバル事業構造改革により、減収ながら増益となりましたが、欧米事業は構造改革効果の寄与が翌期以降となることから減収減益となり、海外事業全体としては減収減益となりました。

結果として、アパレル関連事業全体としては減収減益となりました。

■ライフスタイル関連事業

第1四半期連結会計期間に株式を取得したギフトカタログ事業を行う株式会社大和をライフスタイル関連事業に加え、「ギフト」という新しい事業領域の拡大を図ってまいります。

また、チャコット株式会社における新規ブランドの展開による収益改善に加え、新規連結子会社の株式会社大和が全体に大きく寄与したことにより、ライフスタイル関連事業としては増収増益となりました。



「チャコット」

次期の見通し



「カシヤマ ザ・スマートテラー」

現段階において新型コロナウイルスの感染拡大が連結業績に与える影響を合理的に算定することが困難なことから2021年2月期の連結業績予想については未定としております。今後、状況が収束し合理的な業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

百貨店や駅ビル店舗等の商業施設の営業時間短縮や営業休止、国内インバウンド需要の低迷、外出自粛による消費マインドの低下等に伴う消費需要の落ち込みは、回復するには一定の期間を要するものと予測されます。

このような事業環境の激しい変化に対応すべく、当社は

グローバル事業構造改革を加速させ、体質強化と収益改善を図ってまいります。また、中長期的視点にたち、デジタル、カスタマイズ、ライフスタイルの3つの分野を成長の柱とした成長戦略は引き続き推進してまいります。



「JOSEPH HOMME」

利益配分につきましては、当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要施策の一つと位置づけ、配当性向の目安を35%以上とし、安定的で業績に連動した適正な利益配分を実施することを基本方針としております。

2021年2月期の配当につきましては、連結業績予想が未定であることから、現段階では、未定とさせていただきます。



「ATON」

オーダーメイドブランド『KASHIYAMA』 フルラインを取り揃えた フラッグシップストアが銀座に誕生



1階ウィメンズフロア

株式会社オンワードパーソナルスタイルは、2020年3月にオーダーメイドブランド『KASHIYAMA（カシヤマ）』でフルラインを取り揃えた「KASHIYAMA銀座6丁目店」をオープンしました。

日本随一のショッピングエリア銀座を訪れる国内外のお客様に向けて、ブランドの世界観を発信していく東日本最大のフラッグシップストアです。2フロアで構成される店内には、フルライン(MEN'S各ライン、WOMEN'S SUITS、SHOES)を取り揃え、日本発のブランド「檜山=KASHIYAMA」のアイデンティティーを表現するため、日本的な資材を用いモダンかつシンプルなデザインを取り入れています。

1階はウィメンズフロアで、エレガントなクラシックスーツを展開する「WOMEN'S SUITS」と、ベースデザ

イン、素材、ヒールを組み合わせ、約30万通りの中からお好みの一足が選べる「WOMEN'S SHOES」を展開。2階は、上質な着心地を提案する「MEN'S SUITS」、次世代ビジネスマンに向けた機能性に優れたカスタムメイド・セットアップ「MODERN TAILOR（モダンテーラー）」、特別の日に着用する「MEN'S FORMAL（男性用礼服・タキシード）」、高品質な日本製オーダーシャツ「MEN'S SHIRTS」を展開するメンズフロア。両フロアともに、素材感やデザイン、仕上がりのイメージがひと目でわかるようにサンプルを豊富に揃え、お客様にオーダーメイドのスマートな購入体験を感じていただく、様々なサービスを提供してまいります。



2階メンズフロア

多様化する働く女性のライフシーンに向けた EC発新ブランド『uncrave』デビュー

株式会社オンワード樫山は、多様化する働く女性のライフシーンに向けたEC発新ブランド『uncrave (アンクレイヴ)』を、2020年2月より公式ファッション通販サイト「オンワード・クローゼット」で販売をスタートしました。

女性が働くこと、社会とより深く関わるのがスタンダードとなった時代、「知性と感性」「トレンドとベーシック」「社会性のある服」といった絶妙なバランスを楽しみたい女性に向けたセットアップを主軸とした新ブランドで、“切望する”“願う”という意味の“crave”にunをプラス。必要以上を求めない、必要なものだけを集めるという想いを込めています。

商品は、本物志向のテーラリングにこだわった、新しい



バランスのベーシック。シーズンの気分を瞬時に伝えられる“ほどよいトレンド”を加え、着まわし可能なジャケット、ワンピースを強化。上質な素材とシルエットに機能性をプラスし、高いコストパフォーマンスを感じていただけます。

クリエイティブディレクターには、女性ファッション誌を中心に活躍する東原 妙子氏、ブランドのトータルプロデューサーには、数々のブランドを手掛ける宮井 雅史氏を起用。働く女性のニーズに応えた提案を行っていきます。

伊勢丹新宿店にPOP UP STOREをオープンし、お客様に実際に商品を手にとって素材や仕様を確認いただくなど、認知度の向上を図りEコマース事業における売上拡大を目指してまいります。

高い技術力とデジタルテクノロジーの融合による スマートファクトリー 「KASHIYAMA SAGA」新工場開業式を開催



新工場外観

株式会社KASHIYAMA SAGAは、高い技術力とデジタルテクノロジーの融合によるスマートファクトリーとして稼働を開始した新工場の開業式を2019年10月に執り行いました。当社グループは、モノづくりにおける変化と多様化へ柔軟かつスピーディーに対応することを目的に、自社による生産基盤の強化を推進しています。

「KASHIYAMA SAGA」新工場は、レディース高付加価値商品を生産する国内におけるグループのフラッグシップファクトリーとして建設され、年間約10万着の生産能力を有しています。また、佐賀にある工場と東京のオンワード樫山プロダクトカンパニーをデジタルシステムで直結。リアルタイムで生産ライン情報を共有することでフレキシブルな連携を実現するなど、生産計画の最適化を図り、効率の恒常的改善・向上を推進します。今後は、ニーズが高まりつつあるカスタムメイドの対応も行っていく予定です。

グループの中核事業会社である株式会社オンワード樫山は、

新工場の建設にあたり佐賀県武雄市と「進出協定」を締結しました。新工場の本格稼働を機に、地域経済振興の一助となるべく、より一層事業の発展に努めていきます。

生産基盤を自社で運営することによる安心・信頼感とスピード感を強みとしながら、グループで培ってきた企画生産・流通・販売ノウハウと、デジタル機器・新システムを導入した工場の高い技術力を掛け合わせ、次代のモノづくりに向けたスマートファクトリーの構築をめざします。



新工場内観



環境経営への取り組み

環境活動を経営施策のひとつに掲げ、地球と人々の共生をめざしたチャレンジを続けております。

～あなたのオンワードの服が、「希望をつなぐ毛布」に～

オンワードの回収衣料品から生産したリサイクル毛布を モンゴル国の孤児院と寄宿寮の子どもたちへ寄贈

株式会社オンワードホールディングスは、2019年10月に当社の回収衣料品から生産したリサイクル毛布を、日本赤十字社の協力のもと、モンゴル国の孤児院と寄宿寮の子どもたちへ2,000枚、緊急救援用の備蓄として2,000枚をモンゴル赤十字社に寄贈しました。

第12回目の支援活動先であるモンゴル国は、世界で最も冬が寒い国の一つとされています。今回の寄贈先であるダルハン・オール県はモンゴル国の中心部に位置します。この地域には、「ゲル」と呼ばれる壁にフェルト（動物の



寄贈式の様子



毛布を手にする子どもたち

毛を使った不織布）が使われる伝統的な移動式住居に住んでいる方々があります。「ゲル」の中は、暖房を常時つけていけば温かいのですが、経済状況が厳しい世帯は暖房を常に使用することができず、毛布を何枚も被り寒さをしのいでいます。この度の寄贈では、孤児院と寄宿寮の子どもたちに、極寒の冬を乗り切るための生活改善物資として活用していただきます。今後も日本赤十字社の協力のもと、国内外の被災地支援などに活用していく予定です。

連結貸借対照表

(百万円)

	前期 2019年2月28日現在	当期 2020年2月29日現在
資産の部		
流動資産	114,324	106,782
現金及び預金	31,284	28,795
受取手形及び売掛金	25,508	25,715
商品及び製品	39,148	35,733
原材料及び貯蔵品	5,418	5,448
仕掛品	2,199	2,041
その他の流動資産	11,520	9,536
貸倒引当金	△753	△488
固定資産	173,230	127,534
有形固定資産	96,717	83,231
建物及び構築物	33,613	26,338
機械装置及び運搬具	1,306	1,326
工具器具備品	5,817	3,754
土地	46,265	42,082
その他の有形固定資産	9,714	9,728
無形固定資産	17,025	12,160
ソフトウェア	5,698	5,484
のれん	9,455	6,127
その他の無形固定資産	1,872	548
投資その他の資産	59,486	32,142
投資有価証券	27,845	13,340
長期貸付金	2,469	1,612
長期前払費用	446	300
繰延税金資産	15,899	4,232
差入保証金	6,393	6,477
その他の投資	6,868	6,483
貸倒引当金	△436	△306
資産合計	287,554	234,316

(百万円)

	前期 2019年2月28日現在	当期 2020年2月29日現在
負債の部		
流動負債	105,405	108,743
支払手形及び買掛金	17,556	19,206
電子記録債務	14,182	13,808
短期借入金	53,885	44,907
1年内返済予定長期借入金	2,800	4,452
未払金	3,399	8,218
未払費用	7,669	8,021
未払法人税等	475	527
未払消費税等	686	2,386
賞与引当金	777	835
役員賞与引当金	156	22
返品調整引当金	241	228
ポイント引当金	764	886
その他の流動負債	2,809	5,242
固定負債	19,938	31,536
長期借入金	4,706	17,028
再評価に係る繰延税金負債	1,746	1,755
退職給付に係る負債	3,993	3,723
役員退職慰労引当金	202	233
預り保証金	962	1,289
その他の固定負債	8,327	7,505
負債合計	125,343	140,279
純資産の部		
株主資本	167,429	105,023
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	107,139	46,338
自己株式	△19,833	△21,437
その他の包括利益累計額	△9,113	△15,211
その他有価証券評価差額金	△1,452	△4,581
繰延ヘッジ損益	79	22
土地再評価差額金	△8,956	△9,285
為替換算調整勘定	1,134	△604
退職給付に係る調整累計額	81	△762
新株予約権	559	484
非支配株主持分	3,336	3,740
純資産合計	162,210	94,036
負債及び純資産合計	287,554	234,316

連結損益計算書

(百万円)

	前期	当期
	2018年3月1日から 2019年2月28日まで	2019年3月1日から 2020年2月29日まで
売上高	240,652	248,233
売上原価	129,019	135,550
売上総利益	111,633	112,683
販売費及び一般管理費	107,171	115,744
営業利益又は営業損失(△)	4,461	△3,061
営業外収益	3,342	2,810
営業外費用	2,642	3,584
経常利益又は経常損失(△)	5,161	△3,835
特別利益	4,810	2,988
特別損失	6,817	36,732
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	3,154	△37,579
法人税、住民税及び事業税	1,244	1,653
法人税等調整額	△3,898	12,202
当期純利益又は当期純損失(△)	5,809	△51,435
非支配株主に帰属する当期純利益	860	700
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	4,948	△52,135

連結株主資本等変動計算書(2019年3月1日から2020年2月29日まで)

(百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額						新株 予約権	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他の有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	30,079	50,043	107,139	△19,833	167,429	△1,452	79	△8,956	1,134	81	△9,113	559	3,336	162,210
当期変動額														
剰余金の配当			△3,308		△3,308									△3,308
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△52,135		△52,135									△52,135
自己株式の取得				△1,757	△1,757									△1,757
自己株式の処分			△78	154	75									75
土地再評価差額金の取崩			221		221									221
持分法の適用範囲の変動			△4,767		△4,767									△4,767
連結範囲の変動			△732		△732									△732
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△3,128	△57	△328	△1,738	△844	△6,097	△75	404	△5,768
当期変動額合計	—	—	△60,801	△1,603	△62,405	△3,128	△57	△328	△1,738	△844	△6,097	△75	404	△68,173
当期末残高	30,079	50,043	46,338	△21,437	105,023	△4,581	22	△9,285	△604	△762	△15,211	484	3,740	94,036

会社の概要(2020年2月29日現在)

社名	株式会社 オンワードホールディングス ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
設立	1947年9月4日
資本金	300億79百万円
事業内容	純粋持株会社としてのアパレル関連事業、ライフスタイル関連事業を営む傘下関係会社の経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	87名(連結従業員数:5,153名)
所在地	東京都中央区日本橋三丁目10番5号
主要関係会社	株式会社オンワード樫山 オンワード商事株式会社 株式会社大和 チャコット株式会社 株式会社アイランド 株式会社クリエイティブヨーコ 株式会社オンワードパーソナルスタイル 株式会社オンワードクリエイティブセンター 株式会社オンワードライフデザインネットワーク 株式会社オーアンドケー オンワードイタリアS.P.A. ジョゼフLTD. ジェイプレスINC. 恩瓦徳時尚貿易(中国)有限公司 オンワードピーチリゾートグアムINC.

取締役および監査役(2020年5月28日現在)

代表取締役社長	保元道宣
専務取締役	鈴木恒則
取締役	佐藤 修
取締役	池田大介
取締役	川本 明
取締役	小室淑恵
常勤監査役	吉里博一
常勤監査役	一瀬久幸
監査役	梅津 立
監査役	草野満代

- (注) 1. 取締役 川本明、小室淑恵の両氏は、社外取締役です。
2. 監査役 梅津立、草野満代の両氏は、社外監査役です。
3. 鈴木恒則氏の戸籍上の氏名は長谷川恒則、小室淑恵氏の戸籍上の氏名は石川淑恵です。

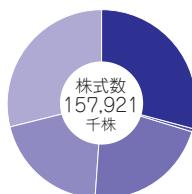
株式の状況(2020年2月29日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	157,921,669株
株主数	17,526名

(注)発行済株式の総数には、自己株式22,901千株が含まれております。

所有者別株式分布状況

金融機関	47,420千株	30.0%	
証券会社	3,037	1.9	
その他の法人	32,436	20.5	
外国法人等	28,653	18.2	
個人・その他	46,375	29.4	



(注)個人・その他には、自己株式が含まれております。

大株主(上位10社)

株主名	持株数	持株比率
公益財団法人榎山奨学財団	8,710千株	6.4%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,011	5.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,677	5.6
BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	4,825	3.5
日本生命保険相互会社	4,671	3.4
オンワードホールディングス取引先持株会	4,665	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,536	3.3
第一生命保険株式会社	4,200	3.1
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,481	2.5
株式会社三井住友銀行	2,931	2.1

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式22,901千株を保有しております。
3. 持株比率は、自己株式22,901千株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	上場証券取引所	東京・名古屋証券取引所 市場第1部
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年5月中	公告掲載URL	https://www.onward-hd.co.jp/
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		



当冊子についてのお問い合わせ先

株式会社 オンワードホールディングス

〒103-8239 東京都中央区日本橋3-10-5

TEL.03-4512-1020



この報告書は環境に配慮した
植物油インキを使用しています。